

● 表形式で授業登録・編集 確定・連続設定 授業一覧 並べ替え 授業ID設定 未設定チェック

表形式で授業を登録・自由に編集

● 表形式で自由に複写・貼付

詳細行の右クリックで「行の挿入・削除・複写・貼付(範囲指定可能)」、行編集、セル(範囲指定可能)の複写・貼付の処理が選択できます。項目の長さの変更は記憶するので、長い名称にも対応できます。

・選択授業も、表形式で新規登録できます。

「授業」の表やエクセルとの複写貼付も可能です。

● ○印のクリック・ドラッグで複雑な設定に対応

・ドラッグで連続

2単位以上の詳細行の○印をドラッグすると「連続」の設定ができます。もう一度ドラッグすると連続を解除します。

・授業の内訳を設定

コンボックスでの選択や「○」印のダブルクリックで先生・科目・クラス・教室・単位数などの行単位の変更が可能です。

● ウイザードでの登録・編集

「追加登録」や「削除」ボタンクリックでは、ウイザード形式で一度に複数の授業登録や削除が可能です。

確定の設定 選択授業の機能 まとめて削除

● 確定の設定

駒入れ前に駒の配置を固定したい場合は、「確定授業設定ウインドウ」の固定する時間枠をクリックします。このウインドウは、駒の固定(確定)の他、「駒はずし」や通常の配置もできます。

○印の位置する駒の番号が、「確定授業設定ウインドウ」にも同じ「駒番号」で表示されて配置時間を明示し、クリックしている駒は青色と水色の背景で明示します。教室の同時収容数を上回る設定にはメッセージを表示します。

● 複雑な設定に対応する「選択授業」の機能

選択授業では○印のオンオフで非常に複雑な設定もできます。

(○印の数と単位数が一致しない時は、赤く表示して注意喚起)「内訳のグループ分け」(教室の使用数の制御)も設定できます。

● 範囲を指定して授業を削除

授業の種類・学年・曜日等を指定して授業の削除が可能です。

授業の確認 名称・授業・時間割データの連携

● 先生・クラス・科目・教室別授業時数一覧表示

「先生別授業確認」では、条件から判断して持ち時間が多い先生を赤色表示し、「クラス別授業確認」では、設定した授業時数より多い場合赤色、少ない場合青色で背景表示します。

授業の確認画面をダブルクリックで詳細画面を開き、詳細画面から授業(選択授業)設定画面も開きます。

● 全クラス授業時数一覧表

→クラス&科目別の単位数の合計確認が可能です。

授業データは、AI手直しや名称属性データとも連携し、修正は他のデータにも反映されます。担任変更の際に、LHRと道徳の担当も自動的に変更する事も可能です。

並べ替えとカラー設定

● 授業も管理しやすい順番に「並べ替え」

選択授業は「並べ替え」ボタンクリックで、基本授業は「先生順」「クラス順」などのボタンをクリックします。

選択授業設定画面で「選択授業Jump」をクリックすると一覧画面を表示し、変更したい選択授業に移行することができます。

● カラー自動設定

→一定の基準で同じカラーを設定可能。見やすくなります。

授業ID設定 授業未設定チェック

● 授業ID設定:活用されています!

授業IDの用途としては、A3横1枚で全校一覧印刷する際に、個別の内容を表現した「授業ID」(例:「11体体鉛筆」)→「クラス・科目・教室・先生」の1行印刷で実現したり、学事システム等に多用されます。

授業IDの「設定」で、先生・クラス・科目・教室名や略称、文字の一部、任意の文字を組み合わせて個別の授業を表現する「授業ID」を自動作成します。授業IDの「変更」も対応表等の利用で、複数IDを一括変更可能です。

● 授業未設定チェック

→未決定などの理由で空白になっていた項目を探し出します。

試験時間割 会議の簡単設定

● 試験時間割の簡単設定

・学年単位の試験時間・科目・待機の先生設定

・試験監督の先生選択の条件設定

「受け持ちクラスを監督する」「受け持ちでないクラスを監督」「監督を限定しない」から選択

・先生や科目の設定の途中でもキャンセルで段階的に戻す事や、名前を付けて保存可能になっています。

・駒入れ後は、通常時間割と同様、先生の変更やAI機能の利用が可能です。

詳細行右クリックで「選択行コピー」↓



表形式で選択授業新規登録↓

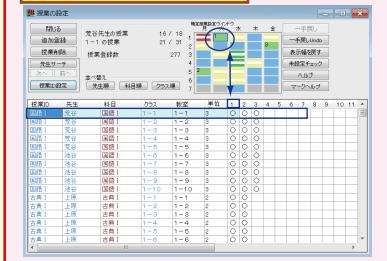


↓選択授業設定画面 確定授業設定ウインドウ



駒番号

↓基本授業:先生順



授業の確認(詳細画面・授業設定画面との連携)



全クラス授業時数一覧表(クラス・科目別集計一覧)



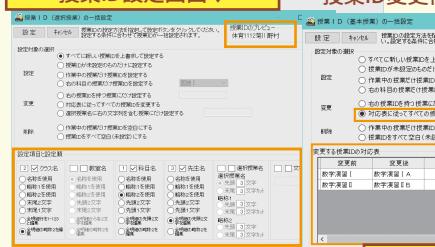
カラー自動設定



授業ID設定画面↓



授業ID変更例 ↓→



未設定チェック→



会議の簡単設定

会議もウイザード形式で設定します。会議を先生の授業としてカウントするかどうかも設定できます。

